

製品名: NT-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14918**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	NTF4
別名	NTF4; NTF5; Neurotrophin-4; NT-4; Neurotrophin-5; NT-5; Neutrophic factor 4
遺伝子 ID	4909.0
SwissProt ID	P34130
免疫原	抗血清はヒト NT-4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

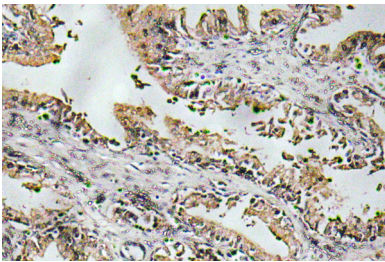
この遺伝子は、哺乳類のニューロンの生存と分化を制御する神経栄養因子ファミリー（ニューロトロフィン）の一員です。この遺伝子の発現は普遍的であり、環境シグナルの影響を受けにくいです。神経成長因子、脳由来神経栄養因子、ニューロトロフィン 3 など

他のニューロトロフィンのノックアウトは、出生後早期の発達において致命的となるのに対し、NTF5 欠損マウスは軽微な細胞障害を示すのみで、成体まで正常に発達します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 末梢感覚交感神経の標的由来生存因子。類似性: NGF- β ファミリーに属する。組織特異性: 前立腺で高レベル、胸腺、胎盤、骨格筋で低レベル。胎児および成体組織で発現する。、

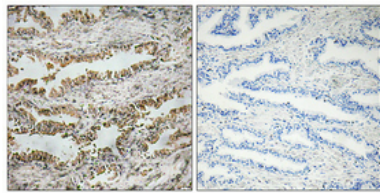
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;神経栄養因子;

画像データ



パラフィン包埋ヒト前立腺癌組織における NT-4 抗体の免疫組織化学分析。



パラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。